

授業 コード	10813	科目名	資格日本語(1)		担当者		田中 智子		
		副題	N1合格を目指そう		開講期	前期	単位数	1	DP対応
【授業概要】									
日本語能力試験1級の問題集を用いて、試験に合格するための知識を身につけます。日本語能力試験には、いろいろな問題があります。しかし、読解やリスニングでよい点をとるためには、文法や語彙の力がなくてはなりません。そのため、この授業では、文法や語彙を中心に勉強します。また、ときどき短い文章を読む練習をし、読解問題に慣れるようにします。									
【到達目標】									
日本語能力試験N1に合格する程度の日本語を使うことができる。(非漢字圏や学習歴の浅い学生は、まずN2を目標にしてもよい)									
【授業方法・計画】									
授業は教科書をもとに演習形式で進めます。最初に漢字部分の小テストを行い、それから問題の答え合わせをしながら、教員が説明をします。授業の間には、映画やドラマの一部を見ます。それによって、日本の文化や日本人の考え方についての知識を増やします。									
第1回	オリエンテーション(自己紹介)、教科書 第1日								
第2回	第2日								
第3回	第3日								
第4回	短文読解								
第5回	第4日								
第6回	第5日								
第7回	短文読解								
第8回	第6日								
第9回	第7日								
第10回	短文読解								
第11回	第8日								
第12回	第9日								
第13回	第10日								
第14回	復習								
【準備学習・復習】									
準備学習:教科書の問題を解いておく。読み方がわからない漢字や意味のわからない言葉があったら、辞書で調べる。(60分) 復習:間違った問題の正しい答えを覚え直す。(40分)									
【課題に対するフィードバックの方法】									
毎週漢字の小テストを行います。授業内で答え合わせをし、回収して理解度を確認します。授業で書いてもらった課題シートは、採点などを行ったあと返却します。									
【受講上のアドバイスおよび注意事項】									
検定試験に合格するには、「授業に出ている」だけでは十分ではありません。予習をしっかりとやり、間違えたところは覚えるまでやり直しましょう。さらに、余裕がある人は自分で教材以外の問題集もやり、多くの問題を解くことで、合格する可能性が高くなるはずです。遅くとも3年生修了の時点でN1に合格することを目指しましょう。教科書は基本的に毎回使います。履修者は必ず準備してください。									
成績評価方法	『小テスト』:各回の授業内容の習熟度...30% 『レスポンスシート(授業の中でする課題)』:各回の授業内容の習熟度...30% 『試験』:基本事項の確認...40%								
教科書	国書日本語学校『日本語能力試験20日で合格N1 文字・語彙・文法』(改訂版)								
参考書	図書館や国際交流センターにある過去問題集と各種問題集								
CB1207	授業に関連する実務経験				なし				